

課題発見・解決学習の紹介

1 学部・学年
高等部 第3学年 単一障害学級

2 これまでの学習

国語科

・相手や目的、場に応じて適切な言葉遣いや話し方を身に付ける。

職業

・適切な進路選択のために、自分に必要な実地的な知識を深める。
・働くことを通して、自立的な社会参加ができることが分かる。

数学科

・生活に必要な金銭の扱い方を知る。

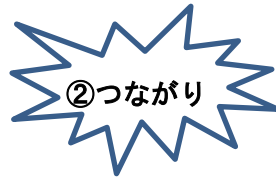
3 本単元

- 【教科・領域等名】 作業学習（窯業）
【単元名】 製品づくりをしよう①
【単元目標】 企業参観日に向けて、製品づくりに取り組むことができる。
自分の製品に責任をもって丁寧に完成させることができる。

4 授業づくり



興味 気付く



つなぐ 結ぶ



使う 広げる

○売れる製品づくり

・昨年の広北まつりで集めたアンケートをもとに、どんな製品が市場に求められているか調査する。
・給食で使っている食器は、きちんと重なり、必要な枚数用意してあることに気付く。

○家で作っている食器と比べてみよう！

・アンケートから、より要望の多い製品をピックアップする。
・どんな大きさの皿が使いやすいのか、どんな色がより食べ物をおいしく見せるのか、意見を出す。

○やってみよう！


・湯呑の要望が多かったので、錆込みの製法を使って新製品づくりに取り組む。
・家族みんなが同じ大きさの皿で食べられるように、セットで販売する。

5 学習活動の様子 (①アイデア ②つながり ③応用)


① 売れる製品って、どんなもの？

<p>アンケート</p> <p>1 どんな製品が欲しいですか。</p> <p>2 何色のお皿が良いと思いますか。</p> <p>3 その他</p>	<p>昨年度の広北まつりでの販売で、アンケートを回収しました。その中から共通することがらや、より売れそうな製品とはどんなものかを考えました。</p> <p>アンケート：湯呑が欲しい。 セットになっているのが良い。 白系の色もいいが、黒もいい。 もっと大きい皿が欲しい。 すごく素敵なお皿がたくさんあった。来年を楽しみ。</p>
---	---


② どんな大きさのお皿がいいかな？

	<p>家で使っている皿や、給食で使っている皿はどうなっているか思いだし、自分たちが作った皿との違いはどこか話し合いました。</p>
---	---

③ どんな配色の製品が売れるかな？

	<p>下地になる色を白系、薄茶系にし、食品がより目立つよう、2色を基本に色付けすることにしました。</p>
---	---

④ 企業参観日での販売

	<p>自分たちが作った食器が、お客さんの驚きやお褒めの言葉と一緒に売れていくという、うれしい経験を積むことができました。しかし、売れ残った製品もあり、広北まつりと企業参観日との客層の違いにより、欲しい製品が違うということも分かりました。</p>
---	--

6 新たな課題への挑戦

今後：広北まつりでの販売活動。
地域販売での販売活動。

取組：どんな製品が売れ残ったのかを調べ、課題を見つけて次に生かす。
いろいろな人の意見を集めるには、どうしたらよいか方法を考える。